



憲法と平和を考える連続学習会 第1弾！

「平和憲法」であい続けるために～戦争は近くにある～**講師 清末 愛砂さん(室蘭工業大学教授)****日 時:** 8月2日(日) 13:00～15:00**場 所:** かでる2・7(北2西7) 730研修室**定 員:** 63人**参加費・託児費:** 無料 友人との参加も歓迎！**申込方法:** 電話かメールリンク、右下 QR コードで
お申込みください。メールリンク→ <https://mail-to.link/m9/480ehvd>**申込締切:** 8/1(土)まで ※託児は7/25(土)まで**問い合わせ:** ☎011-887-8891 本部・中瀬

清末 愛砂(きよすえ あいさ)さん プロフィール
1972 年生まれ。大阪
大学・島根大学を経て
現在、室蘭工業大学
大学院で憲法学や
家族法を教えている。
アフガニスタン、
パレスチナ支援に
携わっている。



2026 年 11 月 3 日に日本国憲法公布 80 年を迎えます。これを機に改めて平和と憲法を考える連続学習会を企画します。

私たち文化委員会は 1993 年にスタートし、ヒロシマ・ナガサキ平和行動を柱に平和な社会を実現するために活動してきました。そんな中、2006 年に改正(改悪)された教育基本法や 2012 年発表の自民党改憲草案の内容に触れると、日本国憲法について自分たちが知らなければ平和な社会は実現できないと思い至り、以来、積極的に憲法を学ぶ機会を作ってきました。しかしこの間、政府は世界情勢の変化を理由に、恒久平和を謳う憲法を様々な手段により切り崩し、着々と戦争のできる国づくりを進めてきています。私たち国民の受け止め方も大きく変わっています。

数年前に「新しい戦前」というフレーズが登場し広がりましたが、高市政権によるさらなる軍備増強、「スパイ防止法」制定の推進など、すでに戦前ではなく戦中前夜だという見方さえあります。まさに、考える時が来ました！専門家の方々を招き連続学習会を開催します。

- * 1 回目は清末愛砂先生をお迎えし、高市政権のめざす「普通の国」とはどんな国なのか今の状況を押さえ、私たちにできることを対話型で考えます。
- * 2 回目は「日常のあたりまえを支える憲法」についてわかりやすく学びます。
- * 3 回目は「私たちが暮らす北海道と憲法の関係」を学ぶことにより地域から平和を作る方法を考えます。(2回目以降の講師については調整中です。ご期待ください)

一緒に学び、ともに考えましょう。かつての歴史を、これからの未来に繰り返さないために。